



週報

D2630

Weekly Report, Gujyo nagaragawa Rotary Club

郡上長良川ロータリークラブ

第47期クラブテーマ

地域社会と共に！
～輝け オンリーワン～

第47期 2024.7～2025.6

会長：山下 誠
副会長：羽土 洋司
幹事：石徹白秀也



例会日：毎週水曜日 18:30 (6月～9月末 19:00)
例会場及び事務所：白鳥町農業指導センター 2F
TEL：0575-82-3822 FAX：0575-82-5191
E-mail:gsc@abelia.ocn.ne.jp 発行：クラブ会報委員会

第2170回

令和6年10月2日(水)

本日の行事

会員卓話 (出席委員長 鷲見啓児君)

2024～25年度 山下 誠会長
幹事報告 石徹白秀也幹事
* 10月ロータリーレート 1\$ 142円
* ガバナー事務所より
・ 地域社会の経済発展月間リソースの案内

* 地区大会事務局より シャトルバス発車時刻について
* 地区事務所より DEI 推進セミナー パネラー依頼

第2169例会報告

■会長挨拶

2024-25年度 山下誠会長

皆さん今晚は、武藤校長先生、本日はお越しいただき、誠にありがとうございます。卓話よろしくお願ひ致します。

羽土さんから報告がありましたが、話を聞きながら2011年3月11日東日本大震災を思い出しました。私は4月11日にボランティアに行きました。行った時に瀬木重彌さんから「向こうに知り合いがいるらしいな」と聞かれ、「俺ら一緒に行くぞ」と言われ、10日後にまた行きました。当時は藤代さんや和田さん、一緒に行ってくれたメンバーが見えますが、羽土さんが言われた通り、古いタオルが欲しいと言われたのを思い出しました。

当時は皆さんに迷惑をかけてはいけないと、僕が一番最初に知り合った人の知り合いで、気仙沼の業者の方が寝床に使えと場所を貸してくれました。一緒に行ったメンバーに迷惑を掛けずにボランティア活動が出来たかなと思っています。

日本は災害大国で、大変な災害がどこで起こるか分からない状況で、我々が出来ることは、どんな形でもいいので協力できればと思います。

話は変わりますが、食の祭典には皆さんご参加いただきありがとうございました。沢山の募金が集まりました。杉山委員長、ご苦勞様でした。参加していただいた会員の皆さんもそうですが、北高の生徒もボランティアで一生懸命募金活動をしてくれ、感動した2日間でした。

校長先生の話をお聞きしたいと思っておりますので、会長の時間を終わります。

■外来卓話 (白鳥中学校と地域との繋がり)

白鳥中学校校長 武藤裕二様

このような会が1週間に1回開かれていて、それぞれの分野の職業の方が、色々な話題を話し合っていることに驚きました。ニコニコBOXって何かと興味津々で聞かせてもらいました。僕がいままで経験したことのない事を経験させて頂くことも今日来てよかったなと思いました。

白鳥中学校の生徒の様子を聞きたいとか、地域貢献活動という事で、子供たちも頑張っているのだから、その辺りを話して下さいと遠藤さんからお話を聞きまいたので、少しでもご理解いただければと思います。

4月から260名が在籍して3クラスとなりました。これから増える見込みはありませんが、3クラスは維持できていると思っています。

4月に今年1年どういう自分になりたいか聞いて、多くの子が考えて自分の目標を立てます。

「何事もあきらめずに挑戦できる自分」とか「周りに流されず、意見を伝えられる自分」という事を書く子供や、仲間に対してこういう自分になりたいか、「誰にでも関わっていける自分」「自分が



本当にやりたいことをやり、それが他の人の幸せにつながるような生き方をしたい」と書く子供がいます。先ほど羽土さんがボランティア活動の話がされましたが、おそらく私達大人も本当にやりたいことだったんだと、そういう大人の姿を見てそういう風になりたいと思う子供もいます。なりたい自分を求め続けて、具体的に活動していきませんが、それに近づけたなど自分で実感した時に、自分の良さ、自分らしさが子供達に感じられるのではないかと、私達もサポートする活動をしています。そんな経験をすれば、これから子供たちがどんな世の中になっても、人と人との繋がりの中で成長させていく一人一人になれるのではないかという夢を描いています。

ただ課題になってくると思いますが、色々な価値観の変化や生き方の多様化、予測がつかない不透明な状況というのが、このところ叫ばれています。そうすると昔は物があれば幸せだ、少しでも人より良い物を沢山使いましょ等、物の幸せというのが主流だったものが、一つの価値ではないという事から、心の豊かさへ変化させていく時期だと私達も考えています。そうすると中々物という一つのものではないので、一律ではありません。それぞれの生き方がその自分らしさというのを実感して生きていく状態、よく well-being なんて言われますが、そういったものをこれからは求めていく、そういうことが大事だろうと言われていています。

well-being は色々な幸せに繋がる要素があります。一つは安心・安全、健康、居心地よく暮らしていくという一番幸せを支える要素となると思っています。さらにその土台の中で、自分らしさを求めていく、これも幸せに繋がります。そして人との繋がりという事で、他者の為に自分がどう貢献できたのか、そのような事で実感できると更に高めていくという事が、書かれています。

私たちは子供たちを well-being を求める事で色々な活動を仕組んでいます。

他者の為に自分らしさを生かす生き方を追求するという事で、こんな場をセッティングしています。総合的な時間で郡上学が週 2 時間あります。それから教科や道徳、部活など、そして教科外ですが、有志活動という事で、地域貢献活動があります。そして先ほど郡上北高と連携していますので、地域の事を知って、地域の今とこれからの事を考えて、地域の為に行動するという事を子供と共に学んでいこうとしています。

そういった活動の中で、誰かがなんとかしてくれるのではなく、自分たちが当事者として学校や地域を作り上げていくという意識を育みたいと思っています。

ではこれから活動の議題について話したいと思います。

1 年生ですが、とにかく郡上市の自然を体験して好きになってもらいたい、これは小学校でも色々な体験、幼稚園、保育園でも郡上市、白鳥をフィールドワークにして色々な体験をさせています。特に中学校では、ラフティングと鮎かけを 3 年前から始めました。そして白鳥踊りの継承です。ラフティングは美並で行われましたが、この写真は前日に雨が降り、水量が多かった時です。中学校では安全の為 70 cm までの深さで行っていますが、今年一番の荒さで、子供たちは最初驚いていましたが、最期には川に飛び込んで楽しんでいました。また鮎パークに行ってアユ掛の体験をしました。昔は鮎つかみをしていましたが、昔からの漁法を体験させるという事で、アユ掛けをしました。全員で 90 人ほど 18 グループありましたが、53 匹釣ることが出来ました。去年は 10 匹でした。

白鳥踊りについては、源助さんが歌えるように音楽の時間に保存会の西村さんから歌唱の練習をしました。今年初めて取り入れましたが、踊る体験だけでなく歌も歌いながらだと、もっと楽しいだろうと来ていただきました。

自分の下駄を作るのですが、型がある所を削ったり鼻緒を付けたりします。八幡町の木履という履物屋さんに来ていただいて教えて下さいます。それから着付けを備子さんはじめ多数の講師に来ていただいて、男子も女子も浴衣を自分で着る体験をします。1 回や 2 回では難しいですが、みんな着てみて、その良さや特色を教えてもらっています。家庭科の授業で取り入れています。これに関わって白鳥の人たちに浴衣を寄付してくださいと去年出させていただいた所、100 着集まり、今年も 50 着寄付していただきました。保存会からも観光協会からも寄付をいただいて、新品の保存会の色違いの浴衣を寄付していただきました。

白鳥踊り 7 曲をマスターしましょうという事で、2 日間に亘って踊ります。覚えて下駄を作って、浴衣を着れるようになって、1 年生が発表会をするのですが、今年は生の保存会の演奏で第 2 町体の前駐車場で、高校生や保護者、地域の方も来ていただいて、下駄を鳴らしながら踊るという発表会をしました。演奏で太鼓をたたいているのは正者君という中 1 の子で、屋台にも上っています。歌う子も 2 人、三味線を弾く子も今年デビューしています。小学校の頃からお囃子をやっている子



が継承者としてやってくれているのは嬉しい事だと思います。

2年生はそれを守っていく人たちに焦点をあてます。白山エコパークという白山の麓にある地域として、白山の自然や、それを生かした産業や、そこに住み続ける事を大切にしている地域という事で、白鳥もそうですが白山市、福井、富山県という事で、そのエリアに指定されています。そういったところで大事にしている全て白山に繋がる周り、川で言えば郡上市は長良川、その水の水源水質を守っていく為という学習を体験できればと学習をしています。

今年は完熟たい肥といって、給食で余った残食を腐らせて、たい肥にするという活動をしています。家からも生ごみを持ってきて、第一処理におが屑とかを入れて、第2処理として山にして作っていくのですが、これが面白くて、子供たちに家から持ってくる生ごみは500g以下にしてねと言っているんですが、肉屋のお子さんが塊を持ってきて、先生たちが少し腐敗した肉を細かく切ったり、ラーメン屋の息子はガラや鰹節を持ってきたりと色々持ってきます。長良川カンパニーという団体に来ていただき、体験をしています。かなり臭いし、ハエやコバエもいます。初めて知ったんですが、コナダニという小さいダニですが、土の表面が動いていると思ったらびっしりとダニがついていました。僕はそれを知らずにかまっていた、家に帰って寝ていると痒くて仕方なかったという事もありました。最初は臭いのですが、匂いがだんだんなくなり、最期に芳醇な香りになってきます。「お酒のようないい匂いだな」というと、「先生、全然いい匂いじゃない」と言われてしまいます。今は全く無臭です。その堆肥は結構なお値段がします。子供たちにどうしようかと考えています。学校の前に畑を作りたいと思っていて、ある建設屋さんに土が欲しいとお願いし、土を持ってきてくださり、畑が出来ました。

白山パークを学んでいるので、明日から白峰へ二日間行ってきます。本当は能登島へ行く予定でした。郡上市内の中学校は20年前から始まりましたが、能登は1月に震災が起こり、先日の豪雨で受け入れできないという事でした。今でも忘れられないのは、お正月の地震が起こった後に副市長から電話があり、能登島へ行けんと言われ、どうするんだという話と、何とか能登と関係のある中学校は動き出せよと言う電話でした。能登へ行けないという事で白峰に行くことになりました。温泉地でスキーで栄えた所ですが、今は寂れているように見えますが、この地域を活性化させるという事で行政と大学と地域の人がガッツリ肩組んで、ここでしかできない街作りをしています。そういった事を子供たちと一緒に学べます。宿泊先は白峯温泉には泊まれないので、近くにある金沢工業大学の国際高専という建物に泊まらせていただきます。

皆様方にもお世話になっていますが、勤労体験学習を行っています。また建設業の方が中学校へ来てくださり、建設業の面白さを話していただいたり、働き方を学んでいます。少しでも子どもたちが興味を持ってもらえるようにしています。また白鳥中出身の起業家の人に来ていただいてお話を伺ったりしています。

3年生は郡上市の、自分たちで可能性や課題を解決する、提案を考える Good 郡上プロジェクトという学習をします。これまでは人が減ってくるとか、郡上から離れて行ってしまうということを食べ止めようと、課題を解決するという所が多かったですが、もう少し可能性を考えて何か考えていけないかという事で、中部縦貫道自動車道の令和8年度油阪地区まで開通する、それによってどんなメリットがあるとか、どんな事が活性化させるために出来るのかと子供たちに考えさせて、最終的には提案をします。

白鳥踊りについてもこれからのことも考えていて、例えば缶バッチを作って配る、その缶バッチには年度を入れ、翌年も年度を入れれば楽しみにしている人がいるかもしれない。これは石徹白の登山の時にバンダナを配るのですが、毎年色が変わるので揃えたいという人がいる事を聞いて、参考にして実現できたらと思っています。

白鳥振興事務所の方から色んな研修を受けていたり、赤ちゃんふれあい体験という事で、子供たちに育てる楽しさを知ってもらうために、母親から子育ての事を聞いたりして触れ合ってもらっています。子供の命を肌で感じる体験をしています。今度、浄心保育園さんから子供を派遣していただいて学校でも体験していく事もしています。

白鳥踊りではキャラバンという事で県知事の所へ訪問したり、発祥祭の司会をさせて頂いたりしています。

白鳥踊りでは木曜踊りというのを生徒会が立ち上げて、体育館や外で好きな子が集まって踊ります。大体150人ほど集まります。これに生演奏をしたりしています。

こういう活動が出来るのは、地域の人たちが学校に来ていただいて、生徒に関わっていただく成果だと思っています。自分たちだけでは何もできません。

考えていることとお話したいのは、先ほどの勤労体験学習です。僕たち郡上市の色々な企業の方はどれくらい人不足で、どれくらい若者を欲しているのか、子供たちに引き継いでほしい仕事、沢山あると思います。そういう声を子供たちに届けて、例えば夏休みに経験してみよ、というよう

な企業側からの依頼、学校側から体験させたいという事をマッチングした活動が出来ないかなと考えています。いまはどちらかというと学校側から企業へお願いをして体験させていただく形です。私たちは企業側の気持ちを知りながら、マッチング出来るような活動に出来ればと考えています。ぜひ白鳥中学行へお越しただいて、お話しいただければと思います。本日はありがとうございました。

■ニコBOX

ニコBOX委員会 和田智博君

山下誠君 郡上市食の祭典では多くの会員諸氏にご協力いただき、感謝いたします。北高生の皆さんの明るい態度に嬉しく思いました。武藤校長先生、今晚はようこそお越しくださいました。よろしく願います。

石徹白秀也君 武藤先生、ご苦労様です。卓話楽しみにしております。

大村太郎君 武藤校長先生、本日はご苦労様です。いつも交通安全ありがとうございます。

寺田澄男君 武藤校長先生、お疲れのところ夜分卓話ありがとうございます。学童の学習生活の様子をお聞かせください。

和田良一君 武藤先生卓話楽しみにしています。先日の食の祭典、ポリオの募金活動お疲れ様でした。僕も少ししか参加できなくて申し訳ありませんでした。

美谷添里恵子君 朝晩はだいぶ涼しくなってきました。長い夏もようやく終わりに近づいてきました。秋は短そうです。

山口里美君 秋らしくなりました。風邪を引きませんように。

和田智博君 やっと過ごしやすい温度になり、ありがたいです。

遠藤正史君 武藤校長先生、よろしく願い致します。

杉山賢君 武藤先生、本日はありがとうございます。今週の金曜日が運動会を改めたスポーツフェスティバルです。暑いとか寒いとか贅沢は言いませんので雨だけは降らないで下さい。

羽土洋司君 武藤校長先生、ようこそお出で下さいました。卓話よろしく願います。

(同文) 藤代昇君、原義明君、畑中知昭君、佐藤備子君、清水英志君、吉村泰彦君

■次週行事予定

10月5・6日 地区大会(名張市)

10月9日 職場例会(郡上市裁判所)

■出席報告

出席委員会 寺田澄男君

	会員数	出席者	欠席者	補正者	出席率
2168回	30名	23名	3名	4名	90%
2169回	30名	18名	5名	7名	83.33%